

演習問題 2.28 $T: U \rightarrow V$ を線形写像とする。このとき $T(\mathbf{0}) = \mathbf{0}$, $T(-\mathbf{x}) = -T(\mathbf{x})$ が成立することを示せ。

$\mathbf{0} = \mathbf{0} + \mathbf{0}$ なので $T(\mathbf{0}) = T(\mathbf{0} + \mathbf{0}) = T(\mathbf{0}) + T(\mathbf{0})$ が成立する。両辺から $T(\mathbf{0})$ を引くと $T(\mathbf{0}) = \mathbf{0}$ が得られる。任意のベクトル \mathbf{x} に対し $-\mathbf{x} = (-1)\mathbf{x}$ が成立しているので、 $T(-\mathbf{x}) = T((-1)\mathbf{x}) = (-1)T(\mathbf{x}) = -T(\mathbf{x})$ となる。

演習問題 2.29 定理 2.36 を証明せよ。

A を線型写像 T の表現行列とすると任意の $\mathbf{y} \in \mathbf{K}^n$ に対し $T(\mathbf{y}) = A\mathbf{y}$ が成立している。 B を線型写像 S の表現行列とすると、任意の $\mathbf{y} \in \mathbf{K}^p$ に対し $S(\mathbf{x}) = B\mathbf{x}$ が成立している。このとき任意の $\mathbf{x} \in \mathbf{K}^p$ に対し

$$T \circ S(\mathbf{x}) = T(S(\mathbf{x})) = T(B\mathbf{x}) = A(B\mathbf{x}) = (AB)\mathbf{x}$$

となるので、 AB は線型写像 $T \circ S$ の表現行列である。

演習問題 2.30 z 軸に関する θ 回転で与えられる写像を T とする。このとき T の表現行列を求めよ。

平面のベクトル \mathbf{x} を原点の回りに θ 回転させて得られるベクトルは $\begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \mathbf{x}$ であった。空間のベクトルにおいても z 軸の回りの回転なので、 x, y 座標に関しては平面の回転と同じである。 z 座標はこの回転で不変なので $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ に対し $T(\mathbf{x}) = \begin{pmatrix} \cos \theta x - \sin \theta y \\ \sin \theta x + \cos \theta y \\ z \end{pmatrix}$ となるので

$$T(\mathbf{x}) = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$$

より表現行列は $\begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$ である。

演習問題 *2.31 $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ とする。 \mathbf{x} を軸にした θ 回転で与えられる写像を T とする。このとき T の表現行列を求めよ。

星印のついている問題なのでおおまかなやり方を示し、細部は各自にまかせる。

$A = (\mathbf{a}_1 \ \mathbf{a}_2 \ \mathbf{a}_3)$ を T の表現行列とする。 $\mathbf{e}_1 = \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\mathbf{e}_2 = \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\mathbf{e}_3 = \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$ を基本ベク

トルとすると, $T(\mathbf{e}_i) = A\mathbf{e}_i$ ($i = 1, 2, 3$) である。

$\mathbf{r} = \frac{1}{\sqrt{3}} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$ とする。 \mathbf{r} と直交する 2 つのベクトル \mathbf{p}, \mathbf{q} で長さが 1 であり, お互いに直交し

ているベクトルを 1 組決める。例えば $\mathbf{p} = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 1 \\ -1 \\ 0 \end{pmatrix}$, $\mathbf{q} = \frac{1}{6} \begin{pmatrix} 1 \\ 1 \\ -2 \end{pmatrix}$ とする。

(1) このとき $T(\mathbf{p}) = \cos \theta \mathbf{p} + \sin \theta \mathbf{q}$, $T(\mathbf{q}) = -\sin \theta \mathbf{p} + \cos \theta \mathbf{q}$, $T(\mathbf{r}) = \mathbf{r}$ が成立することを示せ。

$B = (\mathbf{p} \ \mathbf{q} \ \mathbf{r})$ とおくと

$$B^T B = \begin{pmatrix} (\mathbf{p}, \mathbf{p}) & (\mathbf{p}, \mathbf{q}) & (\mathbf{p}, \mathbf{r}) \\ (\mathbf{q}, \mathbf{p}) & (\mathbf{q}, \mathbf{q}) & (\mathbf{q}, \mathbf{r}) \\ (\mathbf{r}, \mathbf{p}) & (\mathbf{r}, \mathbf{q}) & (\mathbf{r}, \mathbf{r}) \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

が成立している。

(2) $B^T B = E$ ならば $BB^T = E$ が成立することを示す。

$B = (\mathbf{b}_1 \ \mathbf{b}_2 \ \mathbf{b}_3)$ とおく。 $B^T B = E$ より $BB^T B = B$ が成立している。 $c_1 \mathbf{b}_1 + c_2 \mathbf{b}_2 + c_3 \mathbf{b}_3 = 0$ とすると両辺に左から B^T をかけると

$$c_1 B^T \mathbf{b}_1 + c_2 B^T \mathbf{b}_2 + c_3 B^T \mathbf{b}_3 = c_1 \mathbf{e}_1 + c_2 \mathbf{e}_2 + c_3 \mathbf{e}_3 = 0$$

となり $c_1 = c_2 = c_3 = 0$ となる。よって $\mathbf{b}_1, \mathbf{b}_2, \mathbf{b}_3$ は 1 次独立であり, \mathbf{K}^3 の基底になる。 \mathbf{e}_1 に対しスカラー c_{11}, c_{21}, c_{31} が存在して $\mathbf{e}_1 = c_{11} \mathbf{p} + c_{21} \mathbf{q} + c_{31} \mathbf{r}$ が成立している。同様に $\mathbf{e}_2 = c_{12} \mathbf{p} + c_{22} \mathbf{q} + c_{32} \mathbf{r}$, $\mathbf{e}_3 = c_{13} \mathbf{p} + c_{23} \mathbf{q} + c_{33} \mathbf{r}$ となるスカラーが存在する。よって

$$E = (\mathbf{e}_1 \ \mathbf{e}_2 \ \mathbf{e}_3) = (\mathbf{p} \ \mathbf{q} \ \mathbf{r}) \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} & c_{13} \\ c_{21} & c_{22} & c_{23} \\ c_{31} & c_{32} & c_{33} \end{pmatrix} = B \begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} & c_{13} \\ c_{21} & c_{22} & c_{23} \\ c_{31} & c_{32} & c_{33} \end{pmatrix}$$

が成立する。 $BB^T B = B$ の両辺に右から $\begin{pmatrix} c_{11} & c_{12} & c_{13} \\ c_{21} & c_{22} & c_{23} \\ c_{31} & c_{32} & c_{33} \end{pmatrix}$ をかけると $B^T B = E$ が得られる。

(3) $(T(\mathbf{e}_1) \ T(\mathbf{e}_2) \ T(\mathbf{e}_3)) = (T(\mathbf{p}) \ T(\mathbf{q}) \ T(\mathbf{r})) B^T$ が成立することを示す。

$\mathbf{e}_1 = b_{11} \mathbf{p} + b_{12} \mathbf{q} + b_{13} \mathbf{r}$ が成立しているので $T(\mathbf{e}_1) = b_{11} T(\mathbf{p}) + b_{12} T(\mathbf{q}) + b_{13} T(\mathbf{r})$ が成立する。 \mathbf{e}_2 および \mathbf{e}_3 についても同様の式を得る。これを行列の形で書き下せば証明すべき式が得られる。

(4) (1) より

$$(T(\mathbf{p}) \ T(\mathbf{q}) \ T(\mathbf{r})) = (\cos \theta \mathbf{p} + \sin \theta \mathbf{q} \quad -\sin \theta \mathbf{p} + \cos \theta \mathbf{q} \quad \mathbf{r}) = (\mathbf{p} \ \mathbf{q} \ \mathbf{r}) \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}$$

が成立する。

(5) 今までのことより

$$\begin{aligned} A &= (T(\mathbf{e}_1) T(\mathbf{e}_2) T(\mathbf{e}_3)) \\ &= (T(\mathbf{p}) T(\mathbf{q}) T(\mathbf{r}))B^T \\ &= (\mathbf{p} \ \mathbf{q} \ \mathbf{r}) \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} B^T \\ &= B \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} B^T \end{aligned}$$

となる。

演習問題 2.32 T をベクトル空間 U からベクトル空間 V への線型写像とする。 V のベクトル $\mathbf{x}_1, \dots, \mathbf{x}_n$ に対し $T(\mathbf{x}_1), \dots, T(\mathbf{x}_n)$ が 1 次独立のとき、 $\mathbf{x}_1, \dots, \mathbf{x}_n$ も 1 次独立であることを示せ。

$c_1\mathbf{x}_1 + \dots + c_n\mathbf{x}_n = \mathbf{0}$ が成立しているとする。これを T で移すと

$$T(c_1\mathbf{x}_1 + \dots + c_n\mathbf{x}_n) = c_1T(\mathbf{x}_1) + \dots + c_nT(\mathbf{x}_n)$$

なので $c_1T(\mathbf{x}_1) + \dots + c_nT(\mathbf{x}_n) = \mathbf{0}$ が成立している。 $T(\mathbf{x}_1), \dots, T(\mathbf{x}_n)$ の 1 次独立性より $c_1 = \dots = c_n = 0$ となり、 $\mathbf{x}_1, \dots, \mathbf{x}_n$ も 1 次独立である。

演習問題 2.33 T をベクトル空間 U からベクトル空間 V への線型写像とするとき $\text{Im}(T) \leq U$, $\text{Ker}(T) \leq V$ を示せ。

W が部分空間であることを示すには

- (1) $\mathbf{0} \in W$
- (2) 任意のベクトル $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2 \in W$ に対し $\mathbf{x}_1 + \mathbf{x}_2 \in W$
- (3) 任意のベクトル $\mathbf{x} \in W$ と任意のスカラー α に対し $\alpha\mathbf{x} \in W$

を示せば良い。

$\mathbf{0} = T(\mathbf{0})$ なので $\mathbf{0} \in \text{Ker}(T)$ である。 $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2 \in \text{Ker}(T)$ のとき $T(\mathbf{x}_1) = \mathbf{0}$, $T(\mathbf{x}_2) = \mathbf{0}$ が成立している。 $T(\mathbf{x}_1 + \mathbf{x}_2) = T(\mathbf{x}_1) + T(\mathbf{x}_2) = \mathbf{0} + \mathbf{0} = \mathbf{0}$ となるので $\mathbf{x}_1 + \mathbf{x}_2 \in \text{Ker}(T)$ となる。 $\mathbf{x} \in \text{Ker}(T)$ に対し $T(\mathbf{x}) = \mathbf{0}$ が成立している。スカラー α に対し $T(\alpha\mathbf{x}) = \alpha T(\mathbf{x}) = \alpha\mathbf{0} = \mathbf{0}$ なので $\alpha\mathbf{x} \in \text{Ker}(T)$ となる。

$\mathbf{0} = T(\mathbf{0})$ なので $\mathbf{0} \in \text{Im}(T)$ である。 $\mathbf{y}_1, \mathbf{y}_2 \in \text{Im}(T)$ のときベクトル $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2 \in U$ が存在して $\mathbf{y}_1 = T(\mathbf{x}_1)$, $\mathbf{y}_2 = T(\mathbf{x}_2)$ が成立している。 $\mathbf{y}_1 + \mathbf{y}_2 = T(\mathbf{x}_1) + T(\mathbf{x}_2) = T(\mathbf{x}_1 + \mathbf{x}_2)$ であり、 $\mathbf{x}_1 + \mathbf{x}_2 \in U$ なので $\mathbf{y}_1 + \mathbf{y}_2 \in \text{Im}(T)$ となる。 $\mathbf{y} \in \text{Im}(T)$ に対し $\mathbf{y} = T(\mathbf{x})$ となるベクトル $\mathbf{x} \in U$ が存在する。このとき $\alpha\mathbf{y} = \alpha T(\mathbf{x}) = T(\alpha\mathbf{x})$ であり、 $\alpha\mathbf{x} \in U$ なので $\alpha\mathbf{y} \in \text{Im}(T)$ となる。

演習問題 2.34 次の行列 A に対し T_A の核 $\text{Ker}(T_A)$ と像 $\text{Im}(T_A)$ を求めよ。

$$(1) A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 1 & 2 & 0 \\ 1 & 3 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(2) A = \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 \\ 3 & 2 & 8 \\ 2 & 1 & 5 \end{pmatrix}$$

$$(3) A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 \\ 2 & 3 & 4 \\ 3 & 4 & 5 \\ 4 & 5 & 6 \end{pmatrix}$$

$$(4) A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 2 & 3 & 4 & 5 \\ 3 & 4 & 5 & 6 \end{pmatrix}$$

$$(5) A = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(6) A = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 0 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(7) A = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

$$(8) A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 2 & 3 & 4 & 5 \\ 3 & 4 & 5 & 6 \\ 4 & 5 & 6 & 7 \\ 5 & 6 & 7 & 8 \end{pmatrix}$$

ただし行列は (m, n) 行列 A に対し $\text{Ker}(T_A) = W(A) = \{\mathbf{x} \in \mathbf{K}^n \mid A\mathbf{x} = \mathbf{0}\}$, $\text{Im}(T_A) = \{\mathbf{X} \in \mathbf{K}^m \mid \mathbf{x} \in \mathbf{K}^n \text{ が存在して } \mathbf{X} = A\mathbf{x}\}$ ($\mathbf{X} \in \text{Im}(T) \iff W(A, \mathbf{X}) \neq \emptyset$) なので連立 1 次方程式を基本変形で解けばよい。

$$(1) A = \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 \\ 1 & 2 & 0 \\ 1 & 3 & 0 \end{pmatrix} \text{ に対し } \tilde{A} = (A \mathbf{0}) \text{ とおき } \tilde{A} \text{ に対して基本変形を行うと } \tilde{B} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$$

が得られる。 $B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおくと $\text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B)$ なので、

$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$ となる必要十分条件は $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x = 0$ かつ $y = 0$ である。よって

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^3 \mid x = 0, y = 0 \right\} = \left\{ \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ z \end{pmatrix} \mid z \in \mathbf{K} \right\}$$

となる。生成系で表示すると

$$\text{Ker}(T_A) = \left\langle \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

$\mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} \in \text{Im}(T_A)$ とすると連立 1 次方程式 $A\mathbf{x} = \mathbf{X}$ は解を持つ。ここで $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ に

対し x, y, z を未知数, X, Y, Z は既知数と見ている。 $\tilde{A} = (A \mathbf{X})$ とおき, \tilde{A} を基本変形して行く。

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 & X \\ 1 & 2 & 0 & Y \\ 1 & 3 & 0 & Z \end{pmatrix} &\xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 & X \\ 0 & 1 & 0 & Y - X \\ 1 & 3 & 0 & Z \end{pmatrix} \xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 & X \\ 0 & 1 & 0 & Y - X \\ 0 & 2 & 0 & Z - X \end{pmatrix} \\ &\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \times 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 & X \\ 0 & 1 & 0 & Y - X \\ 0 & 0 & 0 & X - 2Y + Z \end{pmatrix} \end{aligned}$$

この方程式は $X - 2Y + Z = 0$ のとき解を持つ。よって

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^3 \mid X - 2Y + Z = 0 \right\}$$

となる。

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ 2Y - X \end{pmatrix} = X \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} + Y \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

なので, 生成系で表すと

$$\text{Im}(T_A) = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

行列 \tilde{A} の基本変形を実行することで A の基本変形も実行できるので, 一度にやってもよい。ここでは別々に実行し, \tilde{A} は解の存在が分かる形に変形できれば, その時点で変形をやめた。次の問題は一度に行う。

$$(2) \tilde{A} = \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 3 & 2 & 8 & Y \\ 2 & 1 & 5 & Z \end{pmatrix} \text{ とおく。}$$

$$\begin{aligned} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 3 & 2 & 8 & Y \\ 2 & 1 & 5 & Z \end{pmatrix} &\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \times 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 3 & 2 & 8 & Y \\ 0 & 3 & 3 & Z - 2X \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 3 \times 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 0 & 5 & 5 & Y - 3X \\ 0 & 3 & 3 & Z - 2X \end{pmatrix} \\ &\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 1/3 \times 3 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 0 & 5 & 5 & Y - 3X \\ 0 & 1 & 1 & \frac{Z - 2X}{3} \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 1/5 \times 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 0 & 1 & 1 & \frac{Y - 3X}{5} \\ 0 & 1 & 1 & \frac{Z - 2X}{3} \end{pmatrix} \\ &\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & -1 & 1 & X \\ 0 & 1 & 1 & \frac{Y - 3X}{5} \\ 0 & 0 & 0 & \frac{5Z - X - 3Y}{15} \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \rightarrow 1 \text{ 行} + 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 & \frac{2X + 3Y}{5} \\ 0 & 1 & 1 & \frac{Y - 3X}{5} \\ 0 & 0 & 0 & \frac{5Z - X - 3Y}{15} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

$B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 2 \\ 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおくと $\text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B)$ なので, $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$ となる

必要十分条件は $B\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x + 2z = 0$ かつ $y + z = 0$ である。

$$\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -2z \\ -z \\ z \end{pmatrix} = z \begin{pmatrix} -2 \\ 1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

なので

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^3 \mid x + 2z = 0, y + z = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} -2 \\ -1 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

$\mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix}$ が $\text{Im}(T_A)$ に含まれる必要十分条件は $W(A, \mathbf{X}) \neq \emptyset$ なので $-X - 3Y + 5Z = 0$

である。

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 5Z - 3Y \\ Y \\ Z \end{pmatrix} = Y \begin{pmatrix} -3 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + Z \begin{pmatrix} 5 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

なので

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^3 \mid -X - 3Y + 5Z = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} -3 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 5 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

(3) $\tilde{A} = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 2 & 3 & 4 & Y \\ 3 & 4 & 5 & Z \\ 4 & 5 & 6 & W \end{pmatrix}$ とおく

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 2 & 3 & 4 & Y \\ 3 & 4 & 5 & Z \\ 4 & 5 & 6 & W \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 3 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 2 & 3 & 4 & Y \\ 3 & 4 & 5 & Z \\ 1 & 1 & 1 & W - Z \end{pmatrix} \xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 2 & 3 & 4 & Y \\ 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 1 & 1 & 1 & W - Z \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 1 & 1 & 1 & W - Z \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 0 & 0 & 0 & W - Z - Y + X \end{pmatrix}$$

$$\begin{array}{ccc}
& \xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} & \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & X \\ 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & W - Z - Y + X \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \leftrightarrow 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 2 & 3 & X \\ 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & W - Z - Y + X \end{pmatrix} \\
& \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} & \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 1 & 2 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & W - Z - Y + X \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \rightarrow 1 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & 2Y - 3X \\ 0 & 1 & 2 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & W - Z - Y + X \end{pmatrix}
\end{array}$$

$B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 \\ 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおくと, $\text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B)$ なので, $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$ と

なる必要十分条件は $B\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x - z = 0$ かつ $y + 2z = 0$ である。よって

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^3 \mid x - z = 0, y + 2z = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

$\mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \end{pmatrix}$ が $\text{Im}(T_A)$ に含まれる必要十分条件は $W(A, \mathbf{X}) \neq \emptyset$ なので, $Z - 2Y + X = 0$

かつ $W - Z - Y + X = 0$ である。

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ 2Y - X \\ 3Y - 2X \end{pmatrix} = X \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix} + Y \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix}$$

なので

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid Z - 2Y + X = 0, W - Z - Y + X = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ -2 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 3 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

(4) $\tilde{A} = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \end{pmatrix}$ とおく。

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \end{pmatrix} \xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \leftrightarrow 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 1 & 2 & 3 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \rightarrow 1 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & -2 & 2Y - 3X \\ 0 & 1 & 2 & 3 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \end{pmatrix}$$

$B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & -2 \\ 0 & 1 & 2 & 3 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}$ とおくと, $\text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B)$ なので, $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$

となる必要十分条件は $B\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x - z - 2w = 0$ かつ $y + 2z + 3w = 0$ である。 $\mathbf{x} \in \text{Ker}(T_A)$ のとき

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} z + 2w \\ -2z - 3w \\ z \\ w \end{pmatrix} = z \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + w \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

となり,

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid x - z - 2w = 0, y + 2z + 3w = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

である。 $\mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix}$ が $\text{Im}(T_A)$ に含まれる必要十分条件は $W(A, \mathbf{X}) \neq \emptyset$ なので, $Z - 2Y + X = 0$ である。

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ 2Y - X \end{pmatrix} = X \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix} + Y \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix}$$

なので

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^2 \mid Z - 2Y + X = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

$$(5) \tilde{A} = \begin{pmatrix} 0 & 0 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W \end{pmatrix} \text{とおく。基本変形を実行しなくても準標準形になっている。}$$

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid w = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} \right\rangle$$

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid Y = 0, Z = 0, W = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

$$(6) A = \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 1 & 1 & 0 & 0 & W \end{pmatrix} \text{とおく。}$$

$$\begin{aligned} & \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 1 & 1 & 0 & 0 & W \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \leftrightarrow 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 1 & 1 & 0 & 0 & W \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 0 & 1 & 0 & -1 & W - Y \end{pmatrix} \\ & \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 0 & 0 & 0 & -2 & W - Y - X \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow -1/2 \times 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 1 & Y \\ 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 0 & 0 & 0 & 1 & \frac{X + Y - W}{2} \end{pmatrix} \\ & \xrightarrow{1 \text{ 行} \rightarrow 1 \text{ 行} - 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 & \frac{Y - X + W}{2} \\ 0 & 1 & 0 & 1 & X \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 0 & 0 & 0 & 1 & \frac{X + Y - W}{2} \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 & \frac{Y - X + W}{2} \\ 0 & 1 & 0 & 0 & \frac{X - Y + W}{2} \\ 0 & 0 & 1 & 1 & Z \\ 0 & 0 & 0 & 1 & \frac{X + Y - W}{2} \end{pmatrix} \\ & \xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 & \frac{Y - X + W}{2} \\ 0 & 1 & 0 & 0 & \frac{X - Y + W}{2} \\ 0 & 0 & 1 & 0 & \frac{2Z - X - Y + W}{2} \\ 0 & 0 & 0 & 1 & \frac{X + Y - W}{2} \end{pmatrix} \end{aligned}$$

$$B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \text{とおくと } \text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B) \text{ なので } \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$$

となる必要十分条件は $B\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x = 0$ かつ $y = 0$ かつ $z = 0$ かつ $w = 0$ である。よって

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid x = 0, y = 0, z = 0, w = 0 \right\} = \{\mathbf{0}\}$$

である。

$$\text{任意の } \mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \text{ に対し } x = \frac{Y - X + W}{2}, y = \frac{X - Y + W}{2}, z = \frac{2Z - X - Y + W}{2},$$

$$w = \frac{X + Y - W}{2} \text{ とおき, } \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \text{ とおくと, } \mathbf{X} = A\mathbf{x} = T_A(\mathbf{x}) \text{ となるので } \mathbf{X} \in \text{Im}(T_A)$$

となる。よって

$$\text{Im}(T_A) = \mathbf{K}^4 = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

である。

$$(7) \text{ このとき任意の } \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \text{ に対し } T_A(\mathbf{x}) = A\mathbf{x} = \mathbf{0} \text{ となるので}$$

$$\text{Ker}(T_A) = \mathbf{K}^4 = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 0 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 0 \\ 0 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

$$\text{Im}(T_A) = \{\mathbf{0}\}$$

となる。

$$(8) A = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \\ 4 & 5 & 6 & 7 & W \\ 5 & 6 & 7 & 8 & U \end{pmatrix} \text{とおく。}$$

$$\begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \\ 4 & 5 & 6 & 7 & W \\ 5 & 6 & 7 & 8 & U \end{pmatrix} \xrightarrow{5 \text{ 行} \rightarrow 5 \text{ 行} - 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \\ 4 & 5 & 6 & 7 & W \\ 1 & 1 & 1 & 1 & U - W \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 3 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 3 & 4 & 5 & 6 & Z \\ 1 & 1 & 1 & 1 & W - Z \\ 1 & 1 & 1 & 1 & U - W \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 2 & 3 & 4 & 5 & Y \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 1 & 1 & 1 & 1 & W - Z \\ 1 & 1 & 1 & 1 & U - W \end{pmatrix} \xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 1 & 1 & 1 & 1 & W - Z \\ 1 & 1 & 1 & 1 & U - W \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{5 \text{ 行} \rightarrow 5 \text{ 行} - 4 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 1 & 1 & 1 & 1 & W - Z \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix} \xrightarrow{4 \text{ 行} \rightarrow 4 \text{ 行} - 3 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Z - Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W - 2Z + Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{3 \text{ 行} \rightarrow 3 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W - 2Z + Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \leftrightarrow 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 1 & 2 & 3 & 4 & X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W - 2Z + Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix}$$

$$\xrightarrow{2 \text{ 行} \rightarrow 2 \text{ 行} - 1 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 1 & Y - X \\ 0 & 1 & 2 & 3 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W - 2Z + Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix} \xrightarrow{1 \text{ 行} \rightarrow 1 \text{ 行} - 2 \text{ 行}} \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & -2 & 2Y - 3X \\ 0 & 1 & 2 & 3 & 2X - Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & Z - 2Y + X \\ 0 & 0 & 0 & 0 & W - 2Z + Y \\ 0 & 0 & 0 & 0 & U - 2W + Z \end{pmatrix}$$

$$B = \begin{pmatrix} 1 & 0 & -1 & -2 \\ 0 & 1 & 2 & 3 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix} \text{とおくと, } \text{Ker}(T_A) = W(A) = W(B) \text{ なので, } \mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \text{Ker}(T_A)$$

となる必要十分条件は $B\mathbf{x} = \mathbf{0}$ 即ち $x - z - 2w = 0$ かつ $y + 2z + 3w = 0$ である。 $\mathbf{x} \in \text{Ker}(T_A)$

のとき

$$\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} z + 2w \\ -2z - 3w \\ z \\ w \end{pmatrix} = z \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix} + w \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix}$$

となり,

$$\text{Ker}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^4 \mid x - z - 2w = 0, y + 2z + 3w = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ 1 \\ 0 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 2 \\ -3 \\ 0 \\ 1 \end{pmatrix} \right\rangle$$

である。

$$\mathbf{X} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \\ U \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^5 \in \text{Im}(T_A) \text{ となる必要十分条件は } W(A, \mathbf{X}) \neq \emptyset \text{ なので, } Z - 2Y + X = 0$$

かつ $W - 2Z + Y = 0$ かつ $U - 2W + Z = 0$ である。 $\mathbf{X} \in \text{Im}(T_A)$ とすると

$$\begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \\ U \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} X \\ Y \\ 2Y - X \\ 3Y - 2X \\ 4Y - 3X \end{pmatrix} = Y \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix} + X \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ -2 \\ -3 \end{pmatrix}$$

なので

$$\text{Im}(T_A) = \left\{ \begin{pmatrix} X \\ Y \\ Z \\ W \\ U \end{pmatrix} \in \mathbf{K}^5 \mid Z - 2Y + X = 0, W - 2Z + Y = 0, U - 2W + Z = 0 \right\} = \left\langle \begin{pmatrix} 0 \\ 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{pmatrix}, \begin{pmatrix} 1 \\ 0 \\ -1 \\ -2 \\ -3 \end{pmatrix} \right\rangle$$

となる。

演習問題 *2.35 T をベクトル空間 U からベクトル空間 V への線型写像とする。このとき

$$\dim U = \dim \text{Ker}(T) + \dim \text{Im}(T)$$

が成立する事を示せ。(ヒント: $\text{Ker}(T)$ の基底と $\text{Im}(T)$ の基底から U の基底を構成する。)

$\text{Ker}(T)$ の基底を $\mathbf{z}_1, \dots, \mathbf{z}_p$, $\text{Im}(T)$ の基底を $\mathbf{y}_1, \dots, \mathbf{y}_q$ とする。このとき $\dim \text{Ker}(T) = p$, $\dim \text{Im}(T) = q$ である。各 \mathbf{y}_i ($i = 1, \dots, q$) に対し $T(\mathbf{x}_i) = \mathbf{y}_i$ となるベクトル $\mathbf{x}_i \in U$ が存在するので、そのようなベクトルを 1 組選んでおく。

このとき $z_1, \dots, z_p, x_1, \dots, x_q$ が U の基底であることを示せば証明が終る。 $c_1 z_1 + \dots + c_p z_p + d_1 x_1 + \dots + d_q x_q = \mathbf{0}$ が成立しているとする。このベクトルに T をほどこすと

$$\begin{aligned} \mathbf{0} &= T(\mathbf{0}) = T(c_1 z_1 + \dots + c_p z_p + d_1 x_1 + \dots + d_q x_q) \\ &= c_1 T(z_1) + \dots + c_p T(z_p) + d_1 T(x_1) + \dots + d_q T(x_q) \\ &= c_1 \mathbf{0} + \dots + c_q \mathbf{0} + d_1 y_1 + \dots + d_q y_q \\ &= d_1 y_1 + \dots + d_q y_q \end{aligned}$$

となる。 y_1, \dots, y_q の 1 次独立性より $d_1 = \dots = d_q = 0$ が分かる。元の式に代入すると

$$c_1 z_1 + \dots + c_p z_p = \mathbf{0}$$

となるが、 z_1, \dots, z_p の 1 次独立性より $c_1 = \dots = c_p = 0$ となる。よって $z_1, \dots, z_p, x_1, \dots, x_q$ は 1 次独立である。

$x \in U$ を任意のベクトルとする。 y_1, \dots, y_q は $\text{Im}(T)$ に基底なので $T(x)$ に対しスカラー b_1, \dots, b_q が存在して

$$T(x) = b_1 y_1 + \dots + b_q y_q$$

となる。 $v = x - (b_1 x_1 + \dots + b_q x_q)$ とおくと

$$\begin{aligned} T(v) &= T(x) - (b_1 T(x_1) + \dots + b_q T(x_q)) \\ &= b_1 y_1 + \dots + b_q y_q - (b_1 y_1 + \dots + b_q y_q) = \mathbf{0} \end{aligned}$$

なので $v \in \text{Ker}(T)$ となる。 z_1, \dots, z_p は $\text{Ker}(T)$ の基底なのでスカラー a_1, \dots, a_p が存在して $v = a_1 z_1 + \dots + a_p z_p$ と書ける。よって

$$x = a_1 z_1 + \dots + a_p z_p + b_1 x_1 + \dots + b_q x_q$$

と表されるので $z_1, \dots, z_p, x_1, \dots, x_q$ が U を生成することが示される。以上により $z_1, \dots, z_p, x_1, \dots, x_q$ が U の基底であることが分かり、

$$\dim U = p + q = \dim \text{Ker}(T) + \dim \text{Im}(T)$$

が成立する。

演習問題 2.36 (5) を除き上で述べたことを証明せよ。

(1) $a \neq 0$ とする。 $T(x_1) = T(x_2)$ のとき $T(x) = ax$ なので $ax_1 = ax_2$ が成立する。 $a \neq 0$ なので両辺を a で割ると $x_1 = x_2$ となる。よって T は一対一である。

また任意の $y \in V = \mathbf{R}$ に対し $x = \frac{y}{a}$ とおくと $T(x) = a \frac{y}{a} = y$ となるので T は上への写像である。よって T は同型写像である。

$a = 0$ のとき $T(0) = 0 = T(1)$ なので一対一写像ではない。よって T は同型写像でない。

(2) 形式的には (1) と全く同様にできるので省略。

(3) $x = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}, x' = \begin{pmatrix} x' \\ y' \\ z' \end{pmatrix} \in U$ に対し $T(x) = T(x')$ が成立しているとする。 $T(x) =$

$\begin{pmatrix} x \\ y \end{pmatrix}, T(x') = \begin{pmatrix} x' \\ y' \end{pmatrix}$ なので $x = x', y = y'$ が成立する。 $x \in U$ なので $x + y + z = 0$ よって

$z = -x - y$ となる。 $\mathbf{x}' \in U$ なので $x' + y' + z' = 0$ よって $z' = -x' - y'$ となる。 $z = -x - y = -x' - y' = z'$ となり T は一対一である。

任意のベクトル $\mathbf{y} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ に対し $z = -x - y$ とおき $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix}$ とおくと $\mathbf{x} \in U$ であり、

$T(\mathbf{x}) = \mathbf{y}$ となる。 T は上への写像なので、前とあわせて同型写像である。

(4) T はベクトルの距離を変えないので任意のベクトル $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2$ に対し $|T(\mathbf{x}_1) - T(\mathbf{x}_2)| = |\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_2|$ となる。 $\mathbf{x}_1 \neq \mathbf{x}_2$ のとき $|\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_2| \neq 0$ なので $|T(\mathbf{x}_1) - T(\mathbf{x}_2)| \neq 0$ となり $T(\mathbf{x}_1) \neq T(\mathbf{x}_2)$ となる。よって T は一対一写像である。

\mathbf{R}^3 の任意のベクトル \mathbf{y} に対し z 軸に関し $-\theta$ 回転させて得られるベクトルを \mathbf{x} とすると $T(\mathbf{x}) = \mathbf{y}$ となる。よって T は上への写像であり、同型写像になる。

演習問題 2.37 線型写像 $T: U \rightarrow V$ が一対一である必要十分条件は $\text{Ker}(T) = \{\mathbf{0}\}$ であることを示せ。

$T(\mathbf{0}) = \mathbf{0}$ なので $\mathbf{0} \in \text{Ker}(T)$ は常に成立している。 T が一対一のとき $\mathbf{x} \in \text{Ker}(T)$ とすると $T(\mathbf{x}) = \mathbf{0}$ となっている。このとき $T(\mathbf{x}) = \mathbf{0} = T(\mathbf{0})$ であり、 T が一対一ということから $\mathbf{x} = \mathbf{0}$ となる。よって $\text{Ker}(T) = \{\mathbf{0}\}$ である。

逆に $\text{Ker}(T) = \{\mathbf{0}\}$ とする。 $\mathbf{x}, \mathbf{x}' \in U$ に対し $T(\mathbf{x}) = T(\mathbf{x}')$ が成立しているとする。

$$T(\mathbf{x} - \mathbf{x}') = T(\mathbf{x} + (-1)\mathbf{x}') = T(\mathbf{x}) + T((-1)\mathbf{x}') = T(\mathbf{x}) + (-1)T(\mathbf{x}') = T(\mathbf{x}) - T(\mathbf{x}') = \mathbf{0}$$

なので $\mathbf{x} - \mathbf{x}' \in \text{Ker}(T)$ となるが、 $\text{Ker}(T) = \{\mathbf{0}\}$ なので $\mathbf{x} - \mathbf{x}' = \mathbf{0}$ となる。よって T は一対一である。